

NIHONGO Fun & Easy

教え方のポイントまとめ 【Unit1-6】

2

はじめに

この資料は、ゼロ初級者向けサバイバル日本語教材
「NIHONGO Fun & Easy」の教え方ポイントまとめ【Unit1-6】です。

私の実体験で、よく聞かれること、間違いやすい点など
できるだけたくさん盛り込んでいます。

これから、このテキストを使用される方の役に立てれば
嬉しい限りです。



始める前に

この資料は、NIHONGO Fun & Easyのテキストを手元に用意して照らし合わせながら読んでいただくと、より分かりやすく構成されています。

まだ、お持ちでない方は、先にご購入いただくことをおすすめします。



電子書籍 ￥1,760

単行本 ￥2,200

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で
より詳細を確認できます。

NIHONGO Fun & Easy II についても
同時に紹介しています。

Unit 1

Unit1は「自己紹介」のユニットです。
この本を使用する人の中には、全く日本語知らない人もいます。
そのため、急にUnit1を始めるのではなく、テキストの最初の方にある
「Must Know words and Phrases（絶対に覚えておきたい表現）」で、
基本的な表現を知ることからスタートすると◎です。

少し知っているものがある人、全く知らない人など、
ゼロ初級者でも多少差があります。

この時に、先生側は、学習者さんの日本語力を
確認するようにしましょう。

Unit 1 Phrase 1

フレーズ

私はジョンです。

下に「Note」として英語にて、簡単な文法事項の記載があります。
ここはレッスンで読まなくても、学習者さん自身で読んでもらえればOKです。

よく聞かれる質問

「どうぞよろしく」の英語訳についてです。
テキストでは、「**It's nice to meet you**」とありますが、「はじめまして」というフレーズも出てくるため、混乱する人がいます。

「はじめまして」は初めて会った時のみ。

「どうぞよろしく」は、初めてではない人にも使え、文末に言う言葉。

など、簡単に説明できると良いです。

ただ、質問されなければ、特に先生側から何か言う必要はありません。

Unit 1 Phrase 2

フレーズ

お仕事は？

「“は？”の後は、何がありますか？」と聞かれることがあります。
その際は「お仕事は、何ですか？」が完全フレーズであることを伝えましょう。
テキストにも「なんですか」と「どこですか」は載っているので、できそうであれば、
これも使って練習しても良いと思います。ただ、無理して言う必要はないです。

よく聞かれる質問

「お住まい/おうち」と「お勤め/会社」の違いです。
難しいようであれば「おうち」と「会社」のみで練習でOKです。

Unit 1 Phrase 3

フレーズ

音楽が好きです。

「〇〇が好きです」を学ぶので、自分の好きな事を言え、割と会話が弾みやすいです。
テキストに載っていないなくても、**学習者さんが好きそうな分野があれば、**
会話を広げてみるのも良いと思います。

ワンポイント

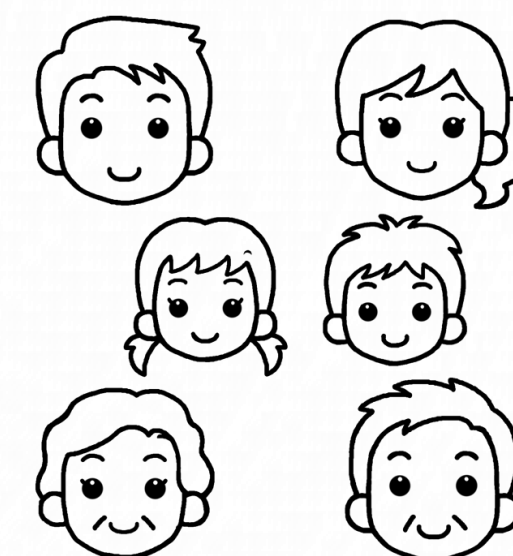
テキストに「イタリア料理」がありますが、料理が好きそうであれば、
「日本料理」「インド料理」「イギリス料理」などUnit 1のPhrase 1で
勉強した国名を使って単語を増やしてみるのも良いと思います。

Unit 1 One More step

ユニット1の最後にあるOne more stepは**家族を表す単語**です。

自分の家族の事を話したりすることは、今後のレッスンでも多いので、知っておいて損はないと感じています。

自分に必要な単語のみでOKなので、ユニット2に行く前に、サラっとでも触れてみると良いと思います。



参考

One More Stepは、任意です。

できそうであれば行い、難しそうであれば飛ばしてOKです。

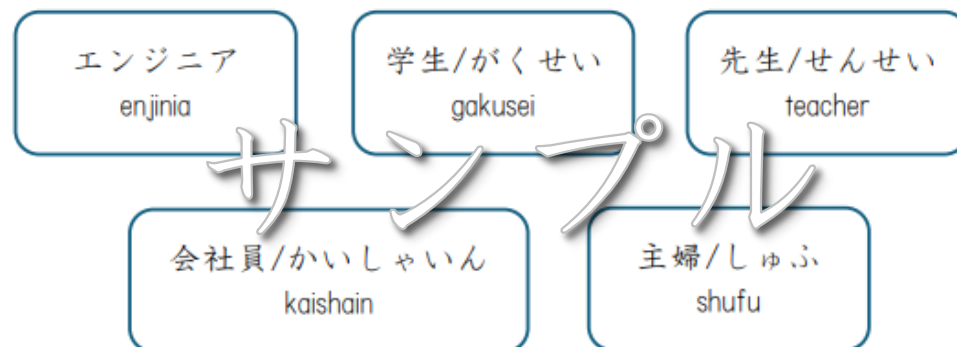


無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。
必要に応じてお使いください。

Unit 1

Unit1 Phrase1



フレーズ1	ダウンロード
フレーズ2	ダウンロード
フレーズ3	ダウンロード

Unit 2

Unit 2は「場所を尋ねる」フレーズを学びます。

日本で住んでいる人なら、日常生活ですぐに使えるフレーズや単語が多いので、いっぱいロールプレイをして覚えて使えるようになってもらいたいです。

もし、単語量が多くて覚えるのに苦労していたら、
重要度が低い単語は飛ばして練習しても良いと思います。
何よりも**フレーズを覚えてもらう事が大切**ですので、
単語は全部覚えきれなくてもOKです。

Unit 2 Phrase 1

フレーズ

この辺にATMありますか。

「〇〇ありますか」を使って場所を尋ねるフレーズです。
必要に応じて、テキスト以外の語彙を導入してもOKです。

混乱しやすい点

このテキスト内に出てくる「じゃあ、いいです」の意味としては「大丈夫です」ですが、「いいです」を「良い (good)」の意味として知っている人もおり、「…？」となる人がたまにいます。

「じゃあ、いいです」の意味自体は教科書に英訳があるので、理解してもらえと思いますが、**可能なら表情を付けたりして、言い方次第で相手への伝わり方が違ってく**ことを表現できたら、より◎です。

Unit 2 Phrase 2

フレーズ

トイレ、どこですか。

ここでは、「ここ・そこ・あそこ」指示詞が出てきます。
簡単でもいいので、感覚を伝えられると◎です。

よく聞かれる質問

ここで割と質問されるのがフレーズ1で勉強した「ありますか」と「どこですか」の違いです。

- ①「トイレ、ありますか」
- ②「トイレ、どこですか」

①「トイレ、ありますか」は、トイレがあるかどうか分からない

②「トイレ、どこですか」は、トイレがあるのは知っているけど場所が分からない

この様な説明をすれば、概ね納得してくれます。この際の説明は、レベルを考えると媒介語を使った方がスムーズです。

Unit 2 Phrase 3

フレーズ

郵便局に行きたいんですが...

「んですが…」が上手く言えない人も居ますが、このレベルであれば、完璧を求め過ぎずある程度でOKとして良いと思います。

ワンポイント


ここでは、たくさん位置詞が出てきます。
混乱する人もいるので、少しずつフラッシュカードを使用したりなど、
できるだけ、ストレスを軽減する工夫ができると◎です。

無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。
必要に応じてお使いください。

Unit 2

Unit2 Phrase1

ATM	地下鉄の駅/ちかてつのえき chikatetsu no eki	
バス停 basu-tei	交番/こうばん kōban	駐車場/ちゅうしゃじょう chūshajyō
コンビニ Kombini	スーパー sūpā	100円ショップ hyaku-en shoppu
薬屋/くすりや kusuriya	インターネットカフェ intānetto kafe	

フレーズ1	ダウンロード
フレーズ2	ダウンロード
フレーズ3	ダウンロード

Unit 3

Unit 1は「買い物」に関するユニットです。

日本に住んでいる人はもちろん、観光で訪れる予定の人でも、すぐに使えるフレーズで、このユニットは、割と人気があります。

もし、対面レッスンをされていて、可能であれば、近所のスーパーやコンビニなどに行って、レッスン中にちょっとしたものを買う練習などをしてみても楽しいかもですね。

フレーズ3で「一回払い」という表現が出てきます。
海外のクレジットカードは、分割やリボ払いができない事が多く、
「一回払い」の意味が分からない人が時々います。
必要でしたら、媒介語を使用してもいいと思うので、
伝えてみるといいです。

Unit 3 Phrase 1

フレーズ

かさ、ありますか。

Unit 2 Phrase 1でも勉強したフレーズです。

ただ、前は「ATM、ありますか」のIs there...?の意味で、

今回は、「かさ、ありますか」のDo you have...?の意味になります。

よく聞かれる質問

ここでよく質問されることは「ないです」と「ないんです」の違いです。

「んです」はどんな時に使うのかを簡単に伝えればOKです。

シンプルに「んです」はemotionalバージョンだということ言うだけでも十分OKです。

まだ、初心者レベルですので、詳しく文法の説明などはしなくて大丈夫です。

Unit 3 Phrase 2

フレーズ

これ、いくらですか。

この新出語彙は「これ・それ・あれ」のみですので、すぐに覚えてもらえると思います。
そのため、ここで数字を勉強すると◎です。
Materialページに数字の読み方もローマ字付きで掲載されています。
ただ、どの程度覚えるのかは、学習者さんの様子を見ながら行いましょう。

ワンポイント

よくできる人であれば、数字の練習をたくさんしても良いです。
その際、レストランのメニュー表など、リアルな物を使うと、
より楽しんでもらえると思います。

Unit 3 Phrase 3

フレーズ

この「シャツ、ください。」

フレーズ自体は難しくないですが、新出語彙の「この・その・あの」と「これ・それ・あれ」で混乱する人がいます。

簡単な表などを書いて見せると分かりやすいと思います。

これ	= Noun	この	+ Noun
それ		その	
あれ		あの	

どんな方法でもOKですが「この・その・あの」は後ろに名詞を付けないと単独では使えないよという事を伝えましょう。

Unit 3 Phrase 4

フレーズ

もうちょっと安いの、ありませんか。

ここでは、新出語彙に6つの形容詞が出てきます。
今までは、名詞のみだったので、少しですが表現が広がります。

よく聞かれる質問

前のフレーズで勉強した「ありますか」と「ありませんか」の違いについて時々質問を受けます。

丁寧な表現である旨を伝えると良いかと思います。
必要であれば、Unit 6 Phrase 2のコラムに関連事項が英語で掲載されています。
合わせて紹介してみてもいいです。

無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。
必要に応じてお使いください。

Unit 3

Unit3 Phrase1

かさ
kasa

英語の新聞/えいごのしんぶん
eigo no shimbun

ボールペン
bōru-pen

地図/ちず
chizu


(お)水/みず
(o)mizu

(お)酒/さけ
(o)sake

牛乳/ぎゅうにゅう
gyūnyū

塩/しお
shio

薬/くすり
kusuri



フレーズ1 [ダウンロード](#)

フレーズ2 [ダウンロード](#)

フレーズ3 [ダウンロード](#)

フレーズ4 [ダウンロード](#)

Unit 4

Unit 2は「レストラン」で使えるフレーズを学びます。

レストラン以外にも、コンビニやファストフード店などでも幅広く使えるフレーズがあり、このユニットは人気のユニットの一つです。

レストランやカフェ、コンビニなど毎日行くような場所で使えるフレーズが出てきます。

「言える！」「使える！」という自信をつけてもらえると今後のレッスンへのモチベーションアップにも繋がります。

Unit 4 Phrase 1

フレーズ

メニュー、お願いします。

ここで、時々聞かれるのが「〇〇、ください」との違いです。
私は、毎回下記の表を書いて違いを伝えています。良かったら、参考にしてください。

	ください	おねがいします
	Please give me	Please
Noun	OK	OK
Verb	OK	NO
Adverb	NO	OK

〈例〉

- ① メニュー、ください/メニュー、おねがいします
Nounなので、どちらでもOK
- ② すわって、ください/すわって、おねがいします
Verbなので、「ください」を使う
- ③ 駅まで、ください/駅まで、おねがいします
Adverbなので「おねがいします」を使う

尚、ユニット4の時点では、まだ①しか勉強していませんが、後のユニットで②と③に似たようなフレーズが出て来ます。

Unit 4 Phrase 2

フレーズ

今日のランチ、なんですか。

前のユニットで習った「これ」を合わせれば、「これ、なんですか」と言えるようになり、分からない事を自分から聞く事ができるようになります。

ワンポイント

レストランでの注文をイメージしてロールプレイを行えると、より聞きたい事などが自発的に出てくる可能性が高くなると思います。
テキストの最初の方のページに、日本食の写真ページがありますので、そこを見ながら練習してもいいと思います。

Unit 4 Phrase 3

フレーズ

持ち帰りで。

多くの人々が、「で」の後に何があるのか、と聞いてきます。
先ほどの表にも記載した通り「〇〇で、おねがいします」が完全フレーズですが、
「で」で終わってもOKだよ、という伝えるといいです。

ワンポイント

ファストフード店をイメージしながら行くと、よりリアル感がでます。
よく行く所を聞いて、そのメニューを使ってみるなどすると、楽しんで練習
してもらえらると思います。

Unit 4 Phrase 4

フレーズ

袋、けっこうです。

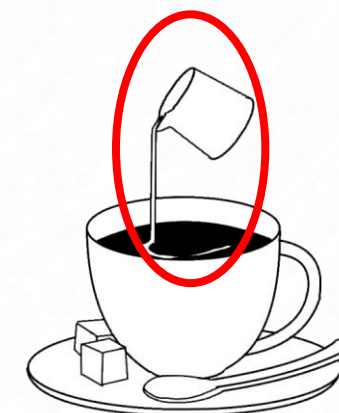
丁寧な断り方を学べるので、割と皆さん、喜びます。

「いいえ」だけだと、どことなく不甲斐なさを感じている人は多いようです。

「けっこうです」のみでも使える事を合わせて伝えても◎です。

ワンポイント

ちょっとだけ気を付けたいのは、新出語彙の「ミルク」です。
英語で「ミルク」は「牛乳」ですが、ここでの「ミルク」は、
コーヒーなどに入れる小さいミルクの事です。
たまに混乱する人がいます。



Unit 4 One More Step

Unit4にはOne More Stepがあります。

ここは、任意ですが、レストランで使えるフレーズや言葉がたくさんあります。
サラッとでもいいので、触れると喜ばれると思います。

ワンポイント

このページを単独で行っても良いですが、Unit4に出てくるフレーズを練習する際に、少しレベルアップとして、**会話練習の中に盛り込んでみても良いか**と思います。

ただし、学習者さんの様子を見ながら、できそうであればOKです。

このページでは、一か所「分」の言い方が出てきます。

人によっては、「時間・分」の言い方をもっと知りたいという人がいます。

その際は、Unit7の「Remember and Use」のページを紹介するといいです。

無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。
必要に応じてお使いください。

Unit 4

Unit 4 Phrase 1

メニュー menyū	注文/ちゅうもん chūmon	おしぼり oshibori
取り皿/とりざら torizara	これと同じの koreto onaji no	グラス gurasu
スプーン supūn	フォーク fōku	カレー karē
生ビール/なま nama bīru		



フレーズ1	ダウンロード
-------	------------------------

フレーズ2	ダウンロード
-------	------------------------

フレーズ3	ダウンロード
-------	------------------------

フレーズ4	ダウンロード
-------	------------------------

Unit 5

Unit 5は「許可を得る」フレーズを学びます。

フレーズは2つのみですが、ここで初めて動詞が出てきます。

テキストでは、既にて形の状態で記載されています。

まだ、このレベルであれば、動詞の活用などに触れなくていいと思います。

ただ、たまに、辞書形やます形を知っている人がいて、質問される時がありますので、聞かれたら答える程度で十分です。

自分から何か質問できるようになると、「できた」「言えた」という気持ちが大きくなると予想されます。

たくさんシチュエーションを提示して、言える／使える喜びを提供できると◎です。

Unit 5 Phrase 1

フレーズ

カードでいいですか。

フレーズ1は、「〇〇 (Noun) でいいですか」というフレーズです。
次のフレーズは動詞を使うため、このフレーズでは、Noun (名詞) と一緒に使うという事を伝えると良いかと思います。

よく聞かれる質問

新出語彙に、「一万円」「靴」という単語がでてきます。
「一万円でいいですか」「靴で良いですか」はどのような状況で使うのか質問
される事があります。
説明は、多少媒介語を使ってもいいと思うので、きちんと理解してもらえ
るようにすると、実生活で使えるチャンスが増えると思います。

Unit 5 Phrase 2

フレーズ

このペン、借りてもいいですか。

フレーズ2は「て形+もいいですか」です。
初めての動詞という事で、学習者さんも嬉しく思う人も居ます。

ワンポイント

ここでの注意点は**促音**です。
「入って」と「履いて」が新出語彙に出て来ますが、この違いが難しいです。
手をたたくなどして、拍数が違う事を伝えると◎です。
同時に、日本語では促音が大切だよ～という事も一緒に伝えてるのも◎。
何か例を挙げるなどして、ちょっとだけ練習すると印象に残りやすいです。

Unit 5 Material & Remember and Use!

Materialページ

Unit 5にはMaterialページがあります。

ここは任意で使用するのですが、日本に住んでいる方であれば知っておくと良い単語があります。（在留カードや健康保険証など）

Remember and Use!

ここには、動詞の活用が簡単ですが説明されています。

できそうな人や興味がありそうな人であれば、簡単に触れてもいいと思います。

ただ、あまり、詳しくやらない方がいいです。

混乱させてしまったり、やっぱり日本語は難しいとマイナスな影響を与えかねません。

無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。
必要に応じてお使いください。

Unit 5

Unit5 Phrase1

カード
cādo

これ
kore

一万円（札）/いちまんえん（さつ）
itsuman'een (satsu)

英語/えいご
eigo


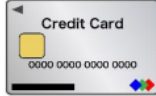
ローマ字/じ
rōma ji

今度/こんど
kondo

あと
ato

予約なし/よやくなし
yoyaku nashi

くつ
kutsu

サンプル

フレーズ1

[ダウンロード](#)

フレーズ2

[ダウンロード](#)

Unit 6

Unit 6は「相手にお願い」する際に使うフレーズを学びます。

Unit 6もUnit 5に引き続き、動詞が出てきます。

少し難しい語彙もあるため、人によっては、覚えきれない事があります。
その際は、単語を絞るなどして柔軟に対応すると◎です。

丁寧な言い方も学ぶため、日本の企業で働いている人など
喜んでくれる人も多いです。
中には、丁寧な言葉は、どんな関係性の人に使うのかなど
質問される事もあります。
ざっくりでも答えられると◎です。

Unit 6 Phrase 1

フレーズ

ちょっと待ってください。

フレーズ1は、「て形+ください」というフレーズです。

「ください」はUnit 3 Phrase 3で勉強していますので、スムーズに進められると思います。

ワンポイント

ここで、少し難しい点としては練習A-2で出てくる「どうぞ」の意味です。

「どうぞ食べてください」「どうぞ座ってください」など、状況を想像できないと「どうぞ」の意味がよく分からず止まってしまう人が時々います。媒介語で説明しても良いですが、可能なら、イラストなどを用意して、「どうぞ」の感覚をつかんでもらえると◎です。



Unit 6 Phrase 1

フレーズ1の練習A-3には、タクシーに乗った際に、運転手さんへ道案内をする練習があります。

ただ、この新出語彙は少し長く、難しいため、スムーズにいかない事が多いです。ここは、どの程度行うのか、学習者さんの反応などを鑑みて柔軟に対応すると◎です。

ワンポイント

あまり練習しなくても、日常生活で知っておいてよい語彙（信号、角、通りなど）のみ、触れるのもいいかと思います。



Unit 6 Phrase 2

フレーズ

ゆっくり話してもらえませんか。

フレーズ2は「て形+もらえませんか」です。
ここで勘の良い方は、「ゆっくり話してください」でもいいですか、などの質問が出ます。
テキストにあるcolumnを使って伝えると◎です。

ワンポイント

テキストのcolumnには、英語での説明がありますが、人によってはこの英語を読むのに苦勞されることもあります。
そのため、イラストなどを少し用意して、誰に対してどの言葉を使うかを視覚的に伝えられるとより◎です。

Unit 6 Good to Know

ワンポイント

ここには、日本のサービスに関して説明がされています。
レッスンで事はないのですが、ここにある**宅配サービス**に関しては、
日本に暮らしている人であれば、触れても良いと思います。

日本の宅配サービスは、日時や時間など細かく指定ができますよね。
オンラインでも再配達の予約ができますが、日本語だと分からない人がいます。

以前、私がレッスンしていた方も、「再配達の予約が分からないから手伝って」
と言われ、レッスン内で行った事があります。

必要そうな方には、少し伝えてもいい内容だと思います。

無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。
必要に応じてお使いください。

Unit 6

Unit6 Phrase1

ちょっと待つて/まて
chotto matte

ちょっと来て/きて
chotto kite

それを見せて/みせて
sore wo mise

手伝って/てつだって
tetsudatte

食べて/たべて
tabete


飲んで/のんで
nonde

座って/すわって
suwatte

入って/はいって
haitte

使って/つかって
tukatte

見て/みて
mite



フレーズ1

[ダウンロード](#)

フレーズ1
(A-3)

[ダウンロード](#)

フレーズ2

[ダウンロード](#)